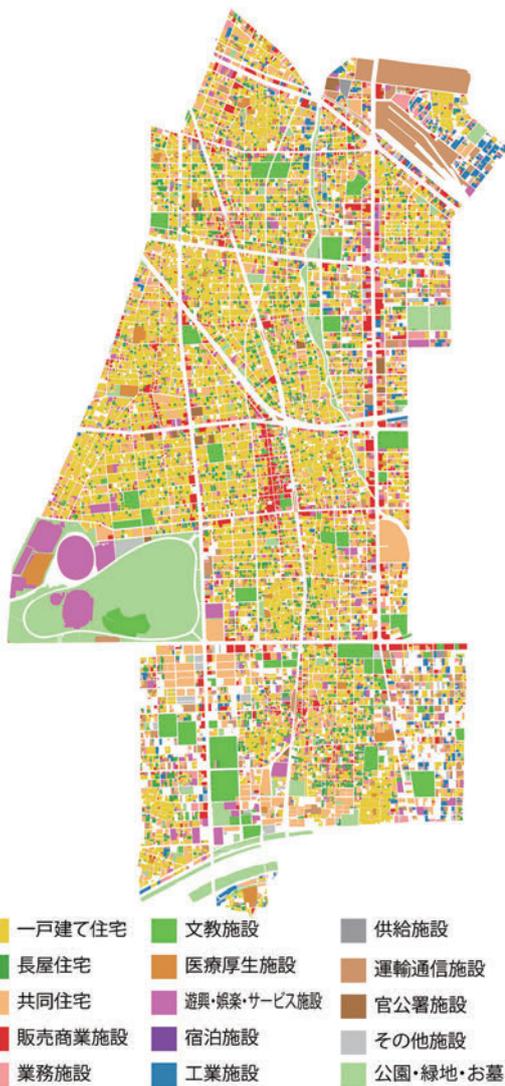


区が抱える資源と課題

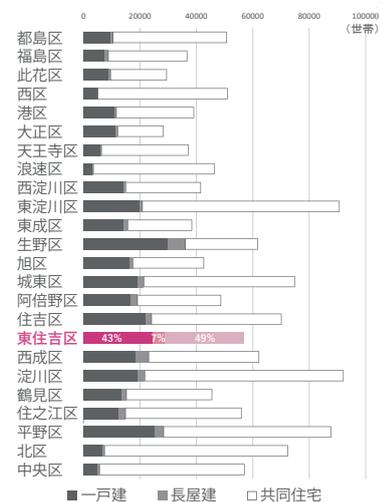
・前節では東住吉区が抱える最も大きな課題として「都市のスポンジ化」を取り上げました。本節では、更に住宅や歴史・文化、交通などの各視点から、区の資源と課題について分析し、整理を行います。

【住宅】良好な住宅ストックの充実

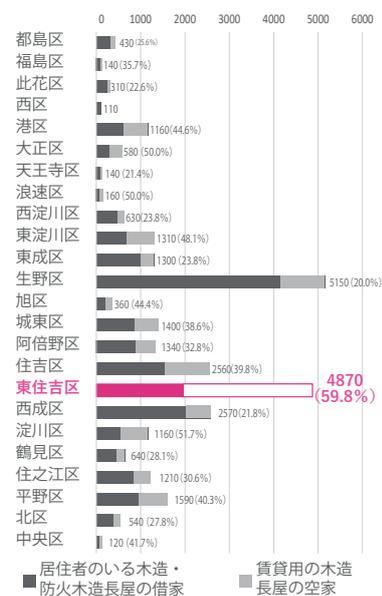
- ・当区は世帯数に占める一戸建て住宅の割合が43%と大阪市内で生野区に次いで高く、低層家屋の立ち並ぶ良好な景観を有しています。
- ・区の大部分で戦災を受けなかったこともあり、長屋が多く存在することも特徴です。
- ・当区は家屋に占める空家の割合が大阪市24区の中で2番目に高く、この傾向は続くと考えられます。
- ・賃貸長屋の約6割が空家であり、長屋の特性を踏まえた対策が必要と考えられます。
- ・当区や隣接する平野区、住吉区の南部には市営住宅が多く立地しており、建替えを通じて生じた余剰地などの活用方策が求められます。



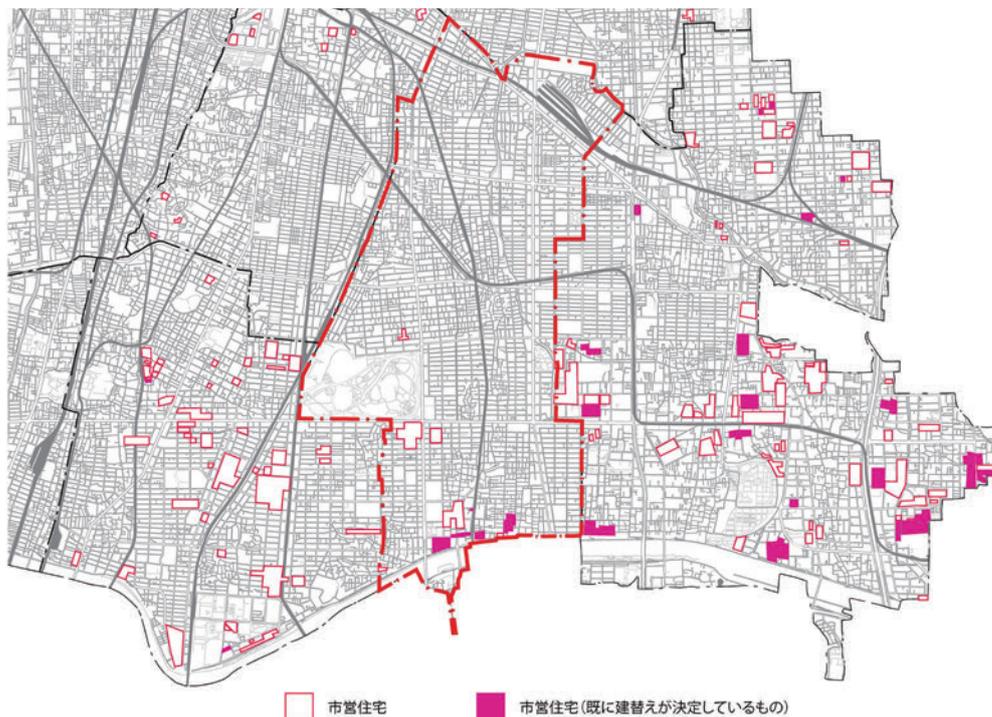
土地利用図 (H29) *



大阪市内各区の住宅形態の構成 (H27) *



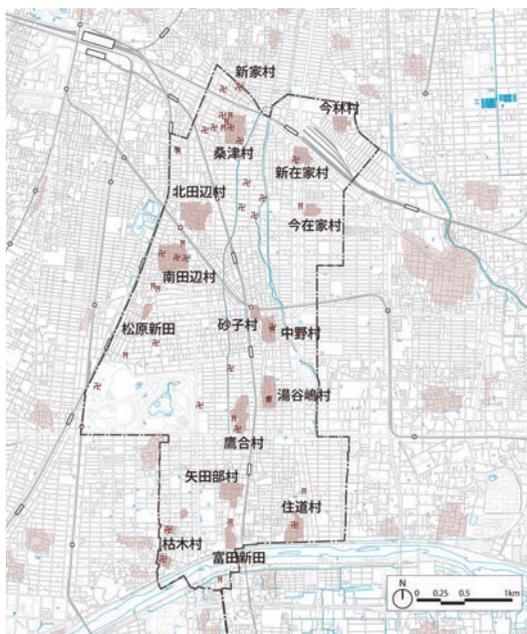
大阪市内各区の賃貸用の木造長屋数と空家率 (H25) *



区周辺の市営住宅の立地*

【歴史・文化】歴史を醸す旧村のまちなみ

- ・当区は大正・昭和初期の区画整理・耕地整理により都市化されたまちが大部分を占めますが、近世以前の農村集落を起源とする住宅地が一部に点在しており、そこでは入り組んだ道路構造や古い家屋・寺社・塀の立ち並びがまちの歴史を醸し、景観に趣を与えています。
- ・これらは良好なまちなみを呈するまちの資源である一方で、狭隘道路の拡幅が進まず、更新の停滞や火災に対する脆弱性が課題となっています。



↑北田辺
→針中野
↓山阪神社



旧村・寺社の立地とようす*